

全国110名のレッドパーズを粉碎せよ!

革マル松崎こそレッドパーズ攻撃の張本人だ



87. 2. 25

No. 2486

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八 (動力車会館)
(鉄電)二九三五六 (公衆)〇四七二二二 七二〇七

2・12第三回設立委を弾劾する

二月十二日、第三回設立委員会において、新会社二万五千人の採用枠を九千四百十四人も下回る二十万五千八百八十六人だけを採用するという法をも無視したデタラメな発表が行われた。これは、分割・民営化をもつてしても動労千葉、国労を解体できなかった中曾根・杉浦・松崎による、動労千葉、国労組合員に対する選別・レッドパーズ攻撃であり、動労革マル救済のためにのみ行った暴挙である。徹底的に弾劾し、粉碎せよ。

法をも無視した露骨な差別・選別攻撃

今回の発表で、本州、四国、貨物会社では、計九千四百十四人の要員が不足しているのに対し、北海道では四千四百、九州においては二千四百の計六千八百人に及ぶ国鉄労働者が清算事業団へと選別的に振り分けられたことに対して徹底的に弾劾しなければならぬ。

特に、北海道、九州の国労組合員の採用率は四割程度(二月二〇日現在)と報道され、明らかにさまざまな組合差別・レッドパーズ攻撃が行なわれたことを物語っている。

分割・民営化の本質

さらに、この中で、全国で百十人(動労千葉十二人)の労働者に対し、「過去三年間に停職六ヶ月、または停職二回を受けた」あるいは、「新会社にふさわしくない」などを理由に清算事業団行きにさせるとは言語道断である。

マスコミですら「違法行為には処分を一度すればそれで済む」(二月十三日付朝日)と言わなければならぬほどのデタラメな暴挙である。

つまり、この攻撃の中に、国鉄労働運動を解体するためならばあえて法をも無視するという、分割・民営化の本質が現

されているのだ。

このような無法なやり方を許すわけにはいかない。粉碎あるのみだ。

動労革マル救済のためのレッドパーズ

この攻撃で、もうひとつ言えることは、動労革マルを救済するために強行したという点である。

北海道、九州では、国労は第一希望だけを書いたのに対し、動労革マルや鉄労は、全会社に希望を出した。国労が現地で採用され、動労革マルや鉄労が定員割れの本州、四国、貨物会社へ配転されかねないという組織的危機をむかえた。

これに恐怖した革マル・松崎や鉄労が一月二二日、「定員を割り込め」と中曾根・杉浦に泣きついたことにより、今回の差別・選別・レッドパーズが強行されたのである。

つまり、動労革マル・松崎こそ、今回のレッドパーズ攻撃の張本人ということである。絶対に許してはならない。

以上のように、二月十二日の第三回設立委員会の中身とは、ウソとペテン、差別と選別に塗り固められた代物である。徹底的に弾劾し、粉碎しなければならぬ。

2・28 国鉄労働者全国交流集会
2月28日(土)午後一時
お茶の水第二電波ビル